

区分・種別	重要文化財(建造物)		
名称	じょうこうじかんのんどう 定光寺観音堂 1棟		
所在地	上島町弓削土生		
所有者	定光寺	管理団体	
指定年月日	昭和52年6月27日		
解説	<p>定光寺観音堂は弓削土生部落の東南山上にあり、東方の足下に深坂の池を、その向こうに弓削商船高等専門学校の広い敷地と法皇ヶ原の松、北西方向には瀬戸内海の島々を望むことができる。この寺は臨済宗東福寺の末寺で、応長元年（1311年）に亡くなった東福寺7世無為昭元禅師によって開山されたと伝えられている。</p> <p>観音堂の創立については明らかではないが、現在の堂は室町時代末期の手法を示している。桁行3間、梁間2間の小規模な堂で屋根は宝形造、本瓦葺である。大面取りの方柱に木鼻付きの頭貫を組み、柱上に大斗を置いて、通し実肘木を造り出した丸桁を直接大斗の上ののせている。正面と背面の中央間には花肘木に大斗を造り出した中備がある。軒は一軒疎垂木である。垂木は反り増しが大きく、隅木は鼻先に鎬のない古風なものである。</p> <p>この堂は小規模で簡素なものであるが、組物と形式など類例の少ない手法を用いている。昭和56（1981）年に解体修理が施された。</p>		

